



東松山市立市民病院





東松山市長

森田 光一

東松山市は、第四次基本構想において、基本理念を「未来へつなぐ安心・安全・人づくり」と定め、将来像に「安心できる暮らしと豊かな自然を大切にしまち」を掲げております。市民病院は、そのなかで「医療体制の充実」に取り組み、これまでも医療スタッフの確保と施設・設備面の充実に努めてまいりました。

今後は、超高齢社会を迎える中で、福祉と医療の連携を強化し、地域ぐるみで健康長寿を支える仕組みづくりが求められます。市民病院は、その中においても地域の中核医療機関としての役割を果たし、いつまでも市民が安心して暮らせる上質な医療の提供を続けてまいります。



———— “私たちの心は、いつも患者さんのために” をモットー

【案内】

■ 病院種別／一般病院 ■ 病床数／114床(一般110床、感染症4床) ■ 診療科目及び診療内容／12科(内科 外科 整形外科 脳神経外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 耳鼻咽喉科 眼科 麻酔科 放射線科 リハビリテーション科)(人間ドック 脳ドック 一般検診) ■ 特殊専門外来／リウマチ専門外来 在宅酸素療法外来 補聴器外来等 ■ 診療受付時間／午前8時30分から午前11時00分・午後1時30分から午後3時30分(急患は随時)※診療科により多少異なります。 ■ 休診日／日曜日 祝日 年末年始 ■ 面会時間／午後1時から午後8時

【施設】

■ 敷地面積／15,713㎡ 新館:鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階、塔屋、延床面積10,826㎡ 本館:鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階、塔屋、延床面積3,620㎡。 ■ その他 車庫、プロパンボンベ、マニホールド室、自転車置場、プロワー室、延床面積196㎡。 ■ 駐車場 一般用300台 ■ 看護師宿舎 鉄筋コンクリート造、2階延床面積583㎡(17人個室)



東松山市立市民病院院長

森野 正明

現在、当院では、診療内容の充実と経営の健全化を目指し、新たな改革プランに基づいて、病院職員が一丸となって取り組みを進めています。

今後は、本館の改築を着実に進めながら、近隣の医療機関とのいっそうの連携を図ることで、超高齢社会を迎えた東松山市の地域医療のために、しっかりと役割と責任を果たしてまいりたいと存じます。

患者さんのもとより、関係する皆様のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

にし、市民から信頼され、選ばれる病院を目指します。

【沿革】

- 昭和32年 2月 東松山市外2ヶ村の組合立伝染病隔離病舎の建設に伴い、親診療所として東松山市国保直営診療所を現在地に開設
 - 診療科＝内科(無床)
- 昭和35年 1月 東松山市国民健康保険診療所と改称
 - 診療科＝内科に加え小児科・放射線科・産婦人科・外科を増設(一般病床2床)
- 昭和39年 9月 一般病床19床に増床
- 昭和41年11月 東松山市国民健康保険病院を開設
 - 診療科＝内科・外科・小児科(一般病床20床)
- 昭和42年 4月 東松山市立市民病院と改称
- 昭和46年12月 一般病床38床に増床
- 昭和47年12月 本館工事着工 地下1階・地上3階
- 昭和49年 3月 本館竣工
 - 診療科＝内科、外科、小児科、泌尿器科、皮膚科

- コバルト治療開始(一般病床60床に増床)
- 昭和60年10月 新館建設工事着工
- 昭和61年12月 新館竣工 本館改修工事着工
- 昭和62年 3月 本館改修工事終了
- 昭和62年 4月 新館オープン(一般病床212床:ICU、CCU各6床及びPICU4床を含む)
 - 診療科＝内科・外科・整形外科・脳神経外科・小児科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科・歯科口腔外科
- 平成11年 4月 県から第2種感染症指定病院の指定を受ける(18床)
- 平成15年10月 新館外壁改修工事着工
- 平成16年 3月 新館外壁改修工事終了
- 平成16年10月 臨床研修指定病院
- 平成19年 2月 日本病院機能評価の認定を受ける
- 平成20年 4月 一般病床を166床感染症棟4床に変更
- 平成21年 4月 一般病床を110床に変更

東松山の街並みを見晴らす、 丘の上の市民病院。

閑静な自然に囲まれた東松山市立市民病院。
恵まれた環境のなかで、
快適な医療サービスを提供できるよう、
最新の設備と細心の心くばりに努めています。



1 総合受付 **2 会計**

広く明るいエントランスホール。各種手続きが円滑にできるよう、受付・会計が機能的に配置されていて、迅速な対応が可能です。

クレジットカードによるお支払いにも対応しています。

3 外来待合室

本館1階には、内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、その他各外来診療室が、広い待合ロビーをとりかこむように配置されています。救急処置室もこのフロアに隣接し、緊急時には各科の医師がすばやく対応できます。

4 薬剤科

医師により作成された処方箋にもとづいて、調剤が行われます。処方された薬には説明書を添付しています。

5 健診室（人間ドック）

健康管理のための人間ドック。気軽に安心して受診していただけるよう、スムーズで優しい健康診断を心がけています。

6 電子カルテシステム

当院では電子カルテシステムを導入し、業務の迅速化、効率化を図ると同時に、部内間のシームレスな連携を実現しています。



適切な治療をサポートする、 充実した環境。

患者さんの病状を的確に把握すること、すべての治療はそこからはじまります。
日々繰り返される完治への努力は、充実した環境が適切な治療を支えています。





1 結石破砕装置

音波の一種・衝撃波を体外から結石に照射、結石のみを細かく破砕する治療装置です。結石は砂状に破砕され、尿とともに自然に体外に排出されます。

2 手術室

手術室は4室。脳外科や人工関節などの手術のために、集じん装置のついた特別な部屋もあります。

3 手術準備室

さまざまな手術に対応できるよう、隣接した準備室には各種医療機器が備えてあります。

4 救急室

緊急を要する患者さんの治療にも対応しています。必要であれば各科の専門スタッフもすばやく対応できるようになっています。

5 中央材料室

検査や治療、看護に使用する医療用具の滅菌・保管・供給を一元的に管理し、院内感染防止に努めています。

6 SPD(医療材料物流管理)システム

平成13年度SPDシステムを導入、病院内で使われる医療材料は使用した分だけ補充され、過剰な在庫も無くなりました。その他にも、業務の効率化とコストダウンへの取り組みに努めています。



正確な検査情報を、 的確な診断と治療のために。

体調の変化は、数値や画像に客観的に現れてきます。
最新の画像解析装置による画像診断、自動検査機器によるさまざまな生体情報の分析など、
的確な診断と治療には、正確な検査情報が不可欠です。





1 内視鏡室

精度の高いハイビジョン内視鏡システムを導入し、内視鏡検査を実現しています。また、経鼻内視鏡なども使用し、検査時の苦痛を最小限にできるよう努めています。

2 臨床検査室

検体検査、生理機能検査、病理検査などさまざまな臨床検査を行っています。

3 MRI(磁気共鳴画像診断装置) 1.5 テスラ

磁気をコンピュータ処理し身体の断面を映像化します。MRIで得られた画像を用いて、血管だけを抽出させることも可能です。

4 マルチスライスCTスキャナー (コンピュータ断層撮影装置)

X線を使用して、コンピュータ処理により、体の断面を撮影します。得られた画像から3次元画像を作成し、診断の補助や手術のシミュレーションも行います。

5 血管撮影室

脳血管の撮影や心臓カテーテルなど、高度な経血管的検査と治療を行っています。

6 一般撮影室(3室)

当院のX線撮影はCR(Computer Radiography)化を図っています。X線写真のデジタル化により、医用画像管理システム(PACS)との連携を図り、迅速な診断結果の提供に努めています。



治療(キュア)と配慮(ケア)、 看護の心を空間にも。

^{キュア}治療とともに一人ひとりの暮らしへの^{ケア}配慮の心を大切にする、
看護の心を看護師だけでなく病院全体に広げたいと考えています。
「患者のニーズに応え、質の高い看護を目指す」を看護理念とし、
病院内での生活を少しでも快適に過ごせるよう、
それぞれの病室は、プライバシーの確保を第一に考えました。



1 ナースステーション

すべてのフロアにナースステーションがあります。すこしでも安らいだ生活をすごせるよう、看護師が常時待機しています。

2 4床室

4床室では、各人は部屋のコーナーを自分の空間として利用でき、ベッドサイドにはテレビ・冷蔵庫・簡易金庫などを設置しています。

3 1床室

プライバシーを重視した1床室には、トイレが設けられています。

4 特別室

1床の特別室には、トイレやバスルームも設置しています。

5 デイルーム

各階にあるデイルームでは、談話も楽しみ、テレビが設置されています。

6 処置室

各フロアにはナースステーションに隣接した処置室があります。特別な処置のほか、介護の相談や指導もこちらで行っています。



治療から社会復帰まで、 スムーズな支援体制。

現代医学では、残念ながら重症の疾患の場合、治療の前後で全く同じ生活ができるとは限りません。
しかしながら、社会復帰への道は必ず残されています。
そのための支援体制の充実も、当院の使命だと考えます。





- 1 特殊専門外来**
通常の外来診療に加え、当院では「在宅酸素療法外来」「リウマチ専門外来」「補聴器外来」等の特殊外来も行っています。
- 2 リハビリテーション**
患者さんの1日も早い社会復帰を目指した機能回復訓練を行っています。
- 3 集中治療室**
急性重症患者への対応が十分に行えるよう、内科系のCCU、外科系のICUを設置しています。これらの集中治療室では、きめのこまかな監視体制がとられています。

知りたい、 伝えたい、 信頼と安心のために。

自分の体のこと、もっと詳しく知りたくありませんか。
当院ではインフォームドコンセントに努めることはもちろん、
患者さんが安心して、納得して治療を受けられるよう、
病気、治療、投薬、食事、それぞれの専門家がいつでも相談に応じています。





糖尿病教室



3

1 医療相談室

通院や入院、介護に関してなど、さまざまな悩みをかかえる患者さんと家族が、気軽に相談できるよう、医療相談員（メディカルソーシャルワーカー）が対応しています。

2 栄養相談室

生活習慣病等の治療には、食事制限をはじめ栄養についての知識が不可欠です。管理栄養士による指導・相談も随時行なっているほか、糖尿病教室など特定の疾患に悩む方々のための講座なども行っています。

3 地域連携室

地域のクリニック、老健施設、または近隣の基幹病院、大学病院等と連携を図り、患者さんのスムーズな入院のサポートを行なっています。



セカンドオピニオン とは？

「セカンドオピニオン」とは、現在の担当医（主治医）からの説明に対する、他の医師からの意見を意味します。患者さんが治療方法を選択し、決定する上で主治医以外の意見を聞くことが大切な場合もあります。



市民病院は患者さん本位の医療を推進しています。セカンドオピニオンに関するお問い合わせは、総合受付までお気軽におたずねください。



3F



4F



5F



◎ その他施設 ◎

外来やお見舞い、また緊急の入院など、すぐに必要なものは病院内の売店で揃えることができます。また、エントランスホールの会計窓口の横には、キャッシュコーナーも設置し、利用者の利便に努めています。



▲売店

病院の敷地内・外を含め、4所の外来駐車場を用意しています。約300台の車が駐車可能です。



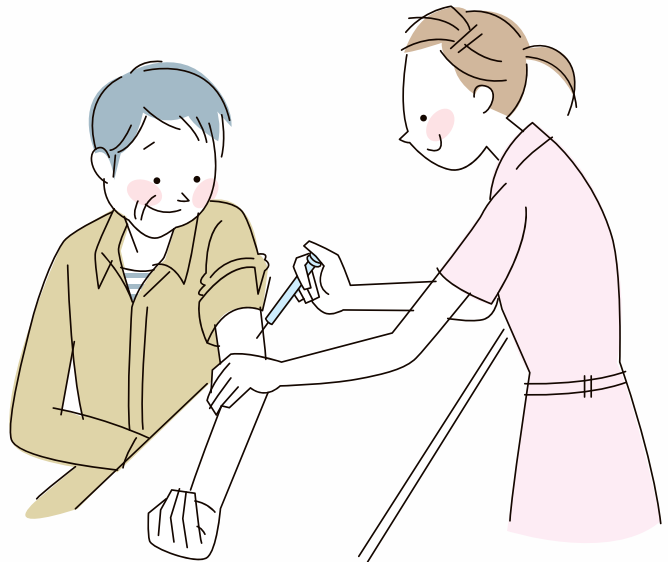
▲駐車場



▲キャッシュコーナー

◎ 看護実習 ◎

当院では、看護師をめざす看護学生のために、研修生の受け入れを積極的に行っています。年間で約250名の学生に、随時研修を行っており、経験豊富な当院の看護師が指導に当たっています。



◎ 看護師宿舎 ◎

看護師にとってより良い環境で勤務できるように、看護師宿舎(個室17室)も用意しています。



交通の
ご案内

東武東上線東松山駅東口下車

国際十王バス「熊谷行き」市民病院前、または川越観光バス「マイタウン循環」市民病院前下車徒歩2分
市内循環バス「大谷コース・市民病院先回り」



東松山市立市民病院

〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山2392番地

Tel.0493-24-6111 Fax.0493-22-0887

URL <http://hmy-municipalhosp.jp>